

News Letter

VOL. 7

大阪市立大学 大阪教育大学 和歌山大学 積水ハウス株式会社

2020年度
連携型共同研究助成採択課題が
決定しました!

連携型共同研究助成とは・・・
連携機関(大阪市立大学・大阪教育大学・和歌山大学・積水ハウス株式会社)における女性研究者の研究力の向上や南近畿の研究ネットワークの拡大を図るため、女性研究者PI(共同研究代表者)による共同研究に対して、研究費の助成を実施しています。

今年度は、18件の課題が採択されました!

大阪市立大学…9件 大阪教育大学…6件 和歌山大学…2件 積水ハウス株式会社…1件

代表者(所属 職名)	研究課題	共同研究者(所属 職名)
大阪市立大学 吉田 朋子 人工光合成研究センター 教授	銀ナノ粒子担持酸化ガリウム光触媒の調製とその二酸化炭素還元反応メカニズム解明	矢嶋 慎子 和歌山大学 システム工学部 教授 門 晋平 和歌山大学 システム工学部 助教
岩崎 昌子 理学研究科 准教授	機械学習を用いた物理学実験データ処理技術の開発	深澤 優子 大阪教育大学 教育学部 准教授 住演 水季 岐阜大学 教育学部 准教授・大阪大学 核物理研究センター 特任准教授 谷口 七重 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 助教
佐々木 洋子 大学教育研究センター 特任助教	社会的公正に基づくダイバーシティ教育プログラムの構築	西倉 実季 和歌山大学 教育学部 准教授 山口 真紀 神戸学院大学 全学教育推進機構 講師
福村 智恵 生活科学研究科 准教授	都市部中学生の主体的な健康食習慣の習得を目指した地域連携食育ネットワークの構築と評価	早見 直美 大阪市立大学 生活科学研究科 講師 西川 章江 大阪教育大学 教育学部 准教授
沼田 里衣 文学研究科 准教授	新型コロナウイルス感染症に対応するためのICTを活用したコミュニティ音楽実践の開発	上野 智子 和歌山大学 教育学部 准教授 菅 道子 和歌山大学 教育学部 教授 山崎 由可里 和歌山大学 教育学部 教授
小関 珠音 都市経営研究科 准教授	工業地域の再生と「豊穡化の経済」 ―場所の記憶、ツーリズム、コミュニティ、エコシステム―	藤田 和史 和歌山大学 経済学部 准教授 立見 淳哉 大阪市立大学 経営学研究科 准教授
植松 千代美 理学研究科 准教授	台風による攪乱を経た植物園で生き物の不思議を学ぶデジタルコンテンツの開発	岡崎 純子 大阪教育大学 教育学部 准教授
藤井 律子 人工光合成研究センター 准教授	海洋性緑藻ミルの強光に対する馴化システムの分子メカニズムの解明	荒木 良一 和歌山大学 教育学部 准教授 竹田 恵美 大阪府立大学 理学系研究科 准教授
福田 美穂 生活科学研究科 准教授	大阪市に現存する伝統的木造住宅の生活文化 ―とくに食と住の習慣に着目して―	小伊藤 亜希子 大阪市立大学 生活科学研究科 教授 小池 志保子 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授 碓田 智子 大阪教育大学 教育学部 教授 西川 章江 大阪教育大学 教育学部 准教授
大阪教育大学 井奥 加奈 教育学部 教授	Society5.0に対応した調理科学を基礎とするオンライン実験に関する基礎的検討	小島 明子 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授 福田 ひとみ 帝塚山学院大学 人間科学部 教授 松村 羊子 畿央大学 健康科学部 教授
田村 知子 連合教職実践研究科 教授	危機的状況下の学校におけるカリキュラムマネジメント ―教育委員会の施策と各学校のカリキュラム・リーダーシップに着目して―	田中 満公子 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特任教授 岡田 和子 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特任教授 長谷川 和弘 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特任教授 餅木 哲郎 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特任教授 木原 俊行 大阪教育大学 連合教職実践研究科 教授 佃 千春 大阪教育大学 連合教職実践研究科 特命職員 島田 希 大阪市立大学 文学研究科 准教授
碓田 智子 教育学部 教授	住文化を伝える生きた実物教材としての重文民家の活用に関する研究	長谷川 コリ 大阪教育大学 教育学部 教授 西川 章江 大阪教育大学 教育学部 准教授 小池 志保子 大阪市立大学 生活科学研究科 准教授
岡崎 純子 教育学部 教授	シダ植物の多様性の起源: 倍數化を通じた進化過程	名波 哲 大阪市立大学 理学研究科 准教授
青木 宏子 教育学部 特任准教授	美術館鑑賞教材『アートとともだち』を用いた教育の実践と検証	渡邊 美香 大阪教育大学 教育学部 准教授 高橋 暁生 積水ハウス株式会社 CSR部 絹谷幸二 天空美術館 研究員
出野 文莉 教育学部 准教授	幼稚園児・小学生の漢字教育の改善提案について	森 久佳 大阪市立大学 文学研究科 准教授
和歌山大学 秋元 郁子 システム工学部 准教授	先端ESR装置を活用した光キャリアおよび光誘起スピンの研究	松岡 秀人 大阪市立大学 理学研究科 特任准教授
藤田 絵理子 教育学部 特任助教	「包括的教育」に関連した大学生意識調査による性教育プログラム作成の展望	安達 智子 大阪教育大学 教育学部 教授 林 修 和歌山大学 教育学部 教授・副学部長 森下 順子 和歌山信愛大学 教育学部 准教授 鶴岡 尚子 和歌山大学 教育学部附属特別支援学校 養護教諭 岩田 智和 和歌山県庁 和歌山県立仙漢学園 心理療法担当職員
積水ハウス株式会社 河崎 由美子 住生活研究所 所長	多世帯居住に関する研究開発	小伊藤 亜希子 大阪市立大学 生活科学研究科 教授 近藤 雅之 積水ハウス株式会社 住生活研究所 課長 平岡 千穂 積水ハウス株式会社 住生活研究所 社員

Report

研究力向上のための 外部資金獲得セミナー

2020年6月24日(水)

女性研究者の研究力向上を目指し、外部資金(科研費)獲得に向けたセミナーを行いました。本年度はZoomにて開催し、連携機関の3大学より合計60名がそれぞれのパソコンから受講しました。講師にはロバスト・ジャパン株式会社の矢野覚士氏を迎え、戦略の立て方に関するレクチャーを受け、研究計画調書を作成する前に検討すべき実践的なワークに取り組みました。また個別支援として、ロバスト・ジャパン株式会社によるZoom面談を実施しました。



講師: 矢野 覚士 (ロバスト・ジャパン株式会社 理学博士)

Topics

介護相談窓口からのお知らせ

下記の情報をホームページに公開しました。ぜひご覧ください。

<https://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/effort/assistance-service/>



1 「新型コロナウイルス感染症対策～介護と仕事の両立～」掲載

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、在宅介護での感染対策や在宅介護の継続に必要なと思われる課題について、その対策や注意点など5つのポイントについて記載しています。

2 「介護と仕事の両立とは？」 認知症編



介護アドバイザー 湯浅美佐子氏によるセミナー動画
「介護と仕事の両立とは?【認知症編】」をYouTubeに公開しました。
※基本編・応用編・認知症編を公開中です。

3 「介護への備えワークシート」と「介護と仕事の両立Q & A」



介護と仕事の両立に活用できる「介護の備え」のためのワークシートを作成しました。印刷してご利用ください。



介護と仕事の両立に関する疑問をQ&A形式でまとめています。



特集《在宅勤務》

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて2020年4月7日に緊急事態宣言が発令され、全国的に自宅待機を余儀なくされました。5月25日に宣言の解除となったものの、直ちに以前の生活に戻すのではなく、段階的な措置が取られました。

01 大阪市立大学

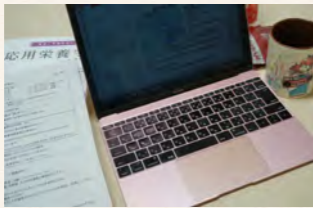
福村 智恵
生活科学研究科 准教授

所属の大学が提供または推奨する在宅勤務システムの紹介

大阪市立大学では、Web Classによるweb講義を行いました。教員側としても初めての経験で、スライドを見せながら話すのではなく、スライドのみで講義を進めていくことに大変戸惑いました。

自粛生活中も研究を続けるうえで工夫したこと

予定していた調査研究が全て延期や中止という事態になりました。調査先の先生方とは連絡を取り合い、調整を行っています。例年以上の負担を先方様にかけることもあり、ご理解とご協力なしには成り立たないため、研究できることのありがたさを改めて感じました。調査に向けない分、データのまとめや、論文投稿の準備など、できることから手をつけていました。



在宅勤務全般についての感想

小学校が再開され、いつも通りのリズムで普通に生活ができるありがたさを身にしみて感じています。特に小さな子どもがいる家庭の場合、在宅勤務では勤務と生活の境目がどうしてもなくなってしまう点が在宅勤務の課題ではないかと感じました。

02 大阪教育大学

出野 文莉
教育学部 准教授

所属の大学が提供または推奨する在宅勤務システムの紹介

在宅勤務中のTeamsやZoomは教員・職員との会議や連絡においては大変有効であると感じております。また、最初はとまどいましたが、学生に(学習支援システム) Moodleで課題を出して学生のレポートを提出させるといった方法は、今では大変便利だと感じています。

在宅勤務をする際に気をつけていたこと

Moodleで学生に課題を出した時、何度か課題の意味について学生から質問を受けたことがあり、それらを反省して分かり易く言葉を選んでコミュニケーションすることに注意を払うようになりました。



在宅勤務で得た新しい発見

私はパソコンがあまり得意ではないですが、分からないことをインターネットで調べて、今まで知らない、いろんなことが分かってきました。また、ずっと在宅しているので、部屋や居間に微妙なほこりがあることに気づき、まめに掃除するようになりました。

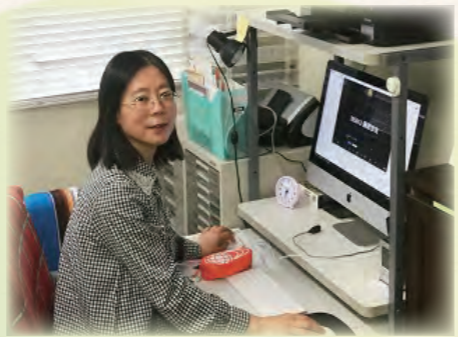
自粛生活でのリフレッシュ方法

ずっと家で過ごす生活だったため、運動不足が心配でした。晴れた日の午後は子どもたちと散歩したり、サイクリングやローラースケートに付き合ったりしながら、親子共にリフレッシュを心がけました。

在宅勤務で困ったこと・在宅勤務を行って感じた課題や改善したいこと

小学生の子どもが2人いるため、休校中の子どもたちの相手しながら、在宅勤務を続けることが非常に大変でした。特に下の子どもは好奇心旺盛で、ダメだと言っても、パソコンを覗き込んだり話しかけたりしてくるため、Zoom会議の際にはこちらの画面や音声をオフにせざるを得ないような状況もありました。

また、自宅で1日3食を毎日作り続ける必要があり、短時間の細切れの時間で集中して仕事をして、かつ生活を回していく、というような感じでした。締め切りのある仕事をいくつも抱えていたため、勤務時間は昼夜問わず、子ども達が寝静まってからパソコン作業をするということも多かったです。



自粛生活中も研究を続けるうえで工夫したこと

日々コロナの情報がテレビなどから流れてきて、外出をまず避け、精神的に不安にならないように気を付けています。また、書道教材の執筆について一日一日の進行するノルマを決め、状況に甘えることなく毎日それを達成することを自分に課しています。

自粛生活でのリフレッシュ方法

私の家は奈良市内にあり、東大寺や春日大社などの広い敷地内を朝早くジョギングしたり歩いたりしながら、日々コースを変えて景色を楽しんでいます。新しい発見があり、心が和みます。



突如として始まった自粛生活、在宅勤務、遠隔授業・・・女性研究者たちはどのように過ごされたでしょうか。各連携機関に所属する女性研究者の皆さまにお話を伺いました。

和歌山大学 03

添田 久美子
副学長(評価・ダイバーシティ担当)

所属の大学が提供または推奨する在宅勤務システムの紹介

和歌山大学では、授業開始を5月7日に延期した上で、第1クォーターの全ての科目を遠隔授業で実施しました。学生の通信環境を配慮し、本学学習支援システムMoodleの活用が推奨されました。

在宅勤務全般についての感想 & 在宅勤務で得た新しい発見

私は、この間トライ&エラーで習得し、使いこなしているとは言えませんが、何とかTeamsやZoomを使って会議と授業をこなしています。在宅勤務になって、一番感じたことは通勤時間がないと料理に時間がかけられることです。運動不足のわりには、太らなくて済みました。



所属の企業が提供する在宅勤務システムの紹介

当社には育児や介護などを行っている社員を対象とした在宅勤務の制度があり、該当社員には専用PCが貸与され、以前から活用されてきました。今回の緊急事態宣言下の状況をうけて、育児や介護の有無に関わらず在宅勤務が可能となりました。私のように新たに在宅勤務をする社員は、iPadを活用した在宅勤務を行っています。以前より整備されていた、社内アプリの活用がメインです。会議はWebEXやFacetimeを用いて行っており、社内だけでなく、社外、お客様との折衝もWeb会議システムを活用して行っています。

在宅勤務で得た新しい発見

椅子を置くだけで居場所が作れることが発見でした。洗面所やキッチンなど平常時は“イドコロ”として使っていなかったところにも椅子を置くだけで“イドコロ”になって、くつろげる空間になるんです。家の中の“イドコロ”が増えました。

● 積水ハウス株式会社では、コロナ禍緊急アンケートを実施し、ニュースリリースで「STAY HOME わが家を幸せにする5つのTIPS」を発行しております。ぜひご覧ください。
https://www.sekuihouse.co.jp/company/topics/datail/_icsFiles/afieldfile/2020/06/02/20200602_2.pdf

自粛生活でのリフレッシュ方法 & 在宅勤務で困ったこと

外出が自粛ということで、私のリフレッシュは飼猫です。Web利用で激減した雑談の相手になってくれています。しかし、困りごとでもあります。「ねこハラ」です。会議中でも授業中でも構わず、走り回り、勝手に参加し、果ては脱走を図り追いかけてはならない事態も起こし、みなさんに失笑を買うこと頻ります。



在宅勤務を行って感じた課題や改善したいこと

場所が変わらないので、ONとOFFを上手にしないと、一日中仕事をしている状態に陥ることが課題だと思います。

積水ハウス株式会社 04

河崎 由美子
住生活研究所 所長



在宅勤務で困ったこと
ランチに困りました。作って食べて、片付けての時間がかり、あっという間にランチタイムが過ぎてしまいました。ダイニングは仕事道具で埋まっているので、リビング側のテーブルを使ったり、キッチンで食べたり、新しい食スタイルへの挑戦になりました。

在宅勤務をする際に気をつけていたこと

メンバー間のカジュアルコミュニケーションの不足に気が付きました。住生活研究所では参加自由のティータイムを設ける、社内SNSを活用するなどして、それぞれの在宅勤務の様子や、運動不足解消の方法を気軽に共有していました。

在宅勤務全般についての感想

仕事と生活が融合する難しさを感じました。緊急事態宣言下の状況で、全員が在宅勤務を体験できたことは、今後、働き方改革を含め、大きな変化につながると感じています。